

平成21年9月期 第2四半期決算短信

平成21年4月30日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 エムティーアイ

コード番号 9438 URL <http://www.mti.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前多 俊宏

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画本部長 (氏名) 松本 博

TEL 03-5333-6323

四半期報告書提出予定日 平成21年5月15日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年9月期第2四半期の連結業績(平成20年10月1日～平成21年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|------|---|------|---|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 21年9月期第2四半期 | 12,138 | — | 833 | — | 802 | — | 862 | — |
| 20年9月期第2四半期 | 10,493 | 17.8 | 698 | — | 666 | — | 157 | △75.6 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年9月期第2四半期 | 6,415.90 | 6,377.69 |
| 20年9月期第2四半期 | 2,266.90 | 2,242.22 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|-------|--------|-----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 21年9月期第2四半期 | 11,347 | 5,890 | 51.6 | 43,834.02 |
| 20年9月期 | 10,758 | 5,385 | 49.9 | 39,567.06 |

(参考) 自己資本 21年9月期第2四半期 5,857百万円 20年9月期 5,368百万円

2. 配当の状況

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | |
|------------|----------|--------|--------|----------|----------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 20年9月期 | — | 0.00 | — | 1,000.00 | 1,000.00 |
| 21年9月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 21年9月期(予想) | — | — | — | 1,000.00 | 1,000.00 |

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年9月期の連結業績予想(平成20年10月1日～平成21年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|-------|------|-------|------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 25,000 | 15.7 | 2,100 | 21.6 | 2,100 | 25.3 | 1,500 | 166.3 | 11,225.19 |

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無
対前期増減率は参考として記載しています。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名 -) 除外 一社 (社名 -)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は6ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注)詳細は6ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年9月期第2四半期 135,851株 20年9月期 138,880株

② 期末自己株式数 21年9月期第2四半期 2,223株 20年9月期 3,193株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年9月期第2四半期 134,450株 20年9月期第2四半期 69,510株

(注)当社は、平成20年3月31日最終の株主名簿および実質株主名簿に記載された株主に対し、平成20年4月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を実施しています。このため、平成20年9月期第2四半期の1株当たり四半期純利益、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益、および期中平均株式数の数値は、株式分割前の株数にて算出し、平成21年9月期第2四半期は株式分割後の株数にて算出しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当期より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

2. 本資料における業績の見通しは、当社が本資料発表時点で入手可能な情報による判断、仮定および確信に基づくものであり、今後の国内および海外の経済情勢、事業運営における内外の状況変化、あるいは、見通しに内在する不確実な要素や潜在的リスク等、さまざまな要因により実際の業績が見通しと大きく異なる結果となり得ることがあります。なお、リスクや不確実な要素には将来の出来事から発生する予測不可能な影響等も含まれます。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 2009年9月期 第2四半期累計期間の概況（2008年10月1日～2009年3月31日）

当社グループは、第3.5世代携帯端末の普及に伴い、市場が拡大している着うたフル®を中心に有料会員数の拡大を図るべく、プロモーション活動を積極的に展開しました。これにより、着うたフル®やデコレーションメールの有料会員数は好調に拡大するとともに、健康情報、天気予報等の生活情報系コンテンツの有料会員数も順調に拡大しました。

これらの結果、主力事業であるコンテンツ配信事業の2009年3月末の有料会員数は730万人（2008年9月末比120万人増）まで拡大したため、売上高は12,138百万円（前年同期比15.7%増）となりました。

売上総利益は、音楽系コンテンツの会員数拡大に伴う楽曲ダウンロード増加により原価率は31.9%（前年同期は29.7%）に上昇しましたが、売上原価を上回る増収により8,271百万円（前年同期比12.2%増）となりました。

営業利益、経常利益についても、人件費や支払手数料、広告宣伝費、減価償却費等の増加がありました。売上総利益の増益によりそれぞれ833百万円（同19.4%増）、802百万円（同20.3%増）となりました。

四半期純利益についても、特別損失として293百万円の計上がありました。経常利益の増益や2009年2月1日で連結子会社である株式会社コミックジェイピーとの合併完了に伴う税効果会計の適用により862百万円（同447.4%増）となりました。

連結業績

(単位：百万円)

| | 2009年9月期 第2四半期累計期間 | 2008年9月期 第2四半期累計期間 | 増減 | |
|--------|-----------------------|-----------------------|-------|--------|
| | | | 金額 | 増減率 |
| 売上高 | 12,138 | 10,493 | 1,645 | 15.7% |
| 売上総利益 | 8,271 | 7,375 | 896 | 12.2% |
| 営業利益 | 833 | 698 | 135 | 19.4% |
| 経常利益 | 802 | 666 | 135 | 20.3% |
| 四半期純利益 | 862 | 157 | 705 | 447.4% |

(注) 記載金額は、単位未満を切り捨て表示しています。

(2) 事業セグメント別の概況

① コンテンツ配信事業

音楽系コンテンツでは、人気楽曲獲得やプロモーション展開に注力し、着うたフル®、着うた®の有料会員数が好調に拡大するとともに、縮小傾向にある着メロについても、有料会員数の減少を最小限に食い止めることができました。

デコレーションメールでは、最大需要期であるクリスマス・年末年始に対応して、積極的なプロモーション展開を行い、また、健康情報、生活情報系コンテンツにおいても、各コンテンツに効果的なプロモーション展開を実施したことにより、有料会員数が好調に拡大しました。

これらの結果、2009年3月末の有料会員数は730万人（2008年9月末比120万人増）となり、売上高は11,886百万円（前年同期比16.9%増）に拡大しましたが、営業利益についてはプロモーション活動を積極的に展開したこと等により1,092百万円（同30.2%減）となりました。

② 自社メディア型広告事業

『デコとも』、『ログとも』の登録会員の活性度の向上について、先行的費用投資に伴う赤字額を最小限に抑えながら取り組みました。2009年3月末の登録会員数は405万人（2008年9月末比14万人増）となり、売上高は298百万円（前年同期比18.5%減）、営業利益は△219百万円（前年同期は△823百万円）となりました。

セグメント別連結売上高

（単位：百万円）

| | 2009年9月期 第2四半期累計 | | 2008年9月期 第2四半期累計 | | 増減 | |
|-----------|---------------------|--------|---------------------|--------|-------|--------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 金額 | 増減率 |
| コンテンツ配信 | 11,886 | 97.9% | 10,170 | 96.9% | 1,716 | 16.9% |
| 自社メディア型広告 | 298 | 2.5% | 366 | 3.5% | △67 | △18.5% |
| 連結合計 | 12,138 | 100.0% | 10,493 | 100.0% | 1,645 | 15.7% |

（注）記載金額は、単位未満を切り捨て表示しています。

上記の表における売上高連結合計額には、消去又は全社の数値（2009年9月期 第2四半期累計期間 △46百万円、2008年9月期 第2四半期累計期間 △42百万円）を含んでいます。

セグメント別連結営業利益

（単位：百万円）

| | 2009年9月期 第2四半期累計 | | 2008年9月期 第2四半期累計 | | 増減 | |
|-----------|---------------------|--------|---------------------|---------|------|--------|
| | 金額 | 利益率 | 金額 | 利益率 | 金額 | 増減率 |
| コンテンツ配信 | 1,092 | 9.2% | 1,566 | 15.4% | △473 | △30.2% |
| 自社メディア型広告 | △219 | △73.4% | △823 | △224.8% | 604 | — |
| 連結合計 | 833 | 6.9% | 698 | 6.7% | 135 | 19.4% |

（注）記載金額は、単位未満を切り捨て表示しています。

上記の表における営業利益連結合計額には、消去又は全社の数値（2009年9月期 第2四半期累計期間 △39百万円、2008年9月期 第2四半期累計期間 △44百万円）を含んでいます。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産・負債・純資産の状況

当第2四半期末の資産合計は11,347百万円となり、2008年9月末対比588百万円の増加となりました。

資産の部については、流動資産では現金及び預金が減少しましたが、主に売掛金が増加したことにより522百万円の増加となり、固定資産では投資有価証券が減少しましたが、主にソフトウェアや敷金保証金の増加により65百万円の増加となりました。

負債の部については、流動負債では未払法人税等が減少しましたが、主に買掛金が増加したことにより91百万円の増加となり、固定負債では退職給付引当金が増加しましたが、主に長期借入金が減少したことにより8百万円の減少となりました。

純資産の残高については、自己株式の増加等がありましたが、四半期純利益として862百万円を計上したことにより、505百万円の増加となりました。

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------------|--------|-------|--------|-----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2009年9月期 第2四半期 | 11,347 | 5,890 | 51.6 | 43,834.02 |
| 2008年9月期 | 10,758 | 5,385 | 49.9 | 39,567.06 |

(2) 連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末の現金及び現金同等物は、2008年9月末対比297百万円減少の1,144百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況および要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加や法人税等の支払額等による資金流出がありました。税金等調整前四半期純利益や減価償却費の計上、仕入債務の増加等により695百万円の資金流入（前年同期は582百万円の資金流入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、関係会社株式売却による収入がありましたが、無形固定資産（主にソフトウェア）の取得による支出等により 475 百万円の資金流出（前年同期は 912 百万円の資金流出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金返済による支出や自己株式取得による支出、配当金の支払等により 499 百万円の資金流出（前年同期は 629 百万円の資金流入）となりました。

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2009年9月期 第2四半期 | 695 | △475 | △499 | 1,144 |
| 2008年9月期 第2四半期 | 582 | △912 | 629 | 1,774 |
| 2008年9月期 | 1,449 | △1,470 | △11 | 1,442 |

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期以降も、引き続き主力事業である音楽系コンテンツを拡大させるとともに、コンテンツ配信事業の中で成長が期待できる分野には積極的に投資を行い、有料会員数のさらなる拡大に注力します。一方、自社メディア型広告事業についても、引き続き先行的費用投資による赤字額をコントロールしながら、事業基盤の確立を図ります。

〔コンテンツ配信事業〕

音楽系コンテンツにおいては、人気楽曲獲得や積極的なプロモーション展開等による入会促進、継続顧客に対するキャンペーン等による退会抑止に取り組むことにより、音楽系コンテンツ全体の有料会員数の拡大を図ります。

生活情報系やその他のコンテンツにおいては、健康情報、天気予報等の今後の成長が期待できる分野に対して積極的かつ効果的なプロモーション展開を行うことにより、これらの分野の有料会員数をさらに拡大させる計画です。

コミック配信については、当面、プロモーション費用をコントロールすることで赤字額を最小限に抑えながら、品揃えの拡充を図るとともに退会率の改善に注力します。

〔自社メディア型広告事業〕

自社メディア型広告事業においては、モバイル広告市場の本格的な拡大に至るまで時間を要するものと見込んでいるため、赤字額を最小限に抑えながら、『デコとも』と『ログとも』の登録会員の活性度を高めることにより、広告媒体となりうるメディア力の向上に注力していきます。

なお、自社メディア型広告事業の広告収入については、現時点では大きく拡大させることが難しいと判断しているため、『デコとも★DX』の有料会員数の増加による課金収入の拡大により、全社の採算向上に取り組んでいきます。

以上より、2009年9月期の通期業績予想は、2009年4月23日に発表しました「2009年9月期 第2四半期累計期間および通期の連結・個別業績予想の修正に関するお知らせ」のとおりとなります。

2009年9月期の通期業績予想 (2008年10月1日～2009年9月30日)

| 連結 | | |
|-------|------------|----------------|
| 売上高 | 25,000 百万円 | (前期比 15.7%増加) |
| 営業利益 | 2,100 百万円 | (前期比 21.6%増加) |
| 経常利益 | 2,100 百万円 | (前期比 25.3%増加) |
| 当期純利益 | 1,500 百万円 | (前期比 166.3%増加) |

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期末時点の貸倒実績率等が前期末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前期末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しています。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

当期より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

② 会計処理方法の変更（会計基準等の改正に伴うものを除く。）

(退職給付会計)

当社グループは、退職給付債務の算定にあたり、前期までは簡便法によっていましたが、当期から原則法による算定方法に変更しています。

この変更は、従業員数の増加により、退職給付債務の金額に重要性が生じたため、その算定の精度を高め、退職給付費用の期間損益計算をより適正化するために行ったものです。

この変更に伴い、当期首における退職給付債務について計算した簡便法と原則法の差額89,116千円を特別損失に計上しています。

この結果、従来と同一の方法によった場合と比較して、営業利益および経常利益は13,801千円減少し、税金等調整前四半期純利益は102,918千円減少しています。

5【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成21年3月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月30日) |
|------------|-------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,144,670 | 1,442,113 |
| 売掛金 | 6,230,444 | 5,441,371 |
| 商品 | 1,102 | 1,154 |
| 貯蔵品 | 1,287 | 8,855 |
| 繰延税金資産 | 805,919 | 554,452 |
| その他 | 628,973 | 629,258 |
| 貸倒引当金 | △545,005 | △332,258 |
| 流動資産合計 | 8,267,391 | 7,744,946 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 231,473 | 247,688 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 1,145,430 | 1,049,195 |
| その他 | 6,775 | 7,369 |
| 無形固定資産合計 | 1,152,205 | 1,056,564 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 527,306 | 768,515 |
| 敷金及び保証金 | 646,821 | 562,791 |
| 繰延税金資産 | 469,470 | 330,760 |
| その他 | 152,685 | 64,747 |
| 貸倒引当金 | △100,232 | △17,032 |
| 投資その他の資産合計 | 1,696,050 | 1,709,783 |
| 固定資産合計 | 3,079,730 | 3,014,035 |
| 資産合計 | 11,347,121 | 10,758,982 |

株式会社エムティーアイ（9438）2009年9月期 第2四半期決算短信

(単位：千円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成21年3月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年9月30日) |
|---------------|-------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 2,169,512 | 1,577,043 |
| 1年内償還予定の社債 | — | 50,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 200,196 | 200,196 |
| 未払金 | 1,044,446 | 766,760 |
| 未払法人税等 | 74,837 | 799,924 |
| コイン等引当金 | 776,257 | 628,547 |
| その他 | 351,930 | 502,841 |
| 流動負債合計 | 4,617,179 | 4,525,313 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 599,608 | 699,706 |
| 退職給付引当金 | 105,773 | 2,021 |
| 負ののれん | 99,807 | 104,366 |
| その他 | 34,142 | 42,037 |
| 固定負債合計 | 839,331 | 848,131 |
| 負債合計 | 5,456,510 | 5,373,444 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,510,966 | 2,506,071 |
| 資本剰余金 | 3,021,147 | 3,016,252 |
| 利益剰余金 | 544,892 | 335,459 |
| 自己株式 | △223,985 | △499,372 |
| 株主資本合計 | 5,853,020 | 5,358,411 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,431 | 10,323 |
| 評価・換算差額等合計 | 4,431 | 10,323 |
| 新株予約権 | 33,158 | 16,802 |
| 純資産合計 | 5,890,610 | 5,385,537 |
| 負債純資産合計 | 11,347,121 | 10,758,982 |

(2)【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 当第2四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日) |
|--------------|--|
| 売上高 | 12,138,682 |
| 売上原価 | 3,867,250 |
| 売上総利益 | 8,271,432 |
| 販売費及び一般管理費 | 7,437,551 |
| 営業利益 | 833,881 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 517 |
| 負ののれん償却額 | 4,558 |
| 雑収入 | 3,319 |
| 営業外収益合計 | 8,396 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 10,797 |
| 持分法による投資損失 | 1,923 |
| 消費税等調整額 | 24,229 |
| 雑損失 | 2,958 |
| 営業外費用合計 | 39,908 |
| 経常利益 | 802,368 |
| 特別利益 | |
| 貸倒引当金戻入額 | 1,596 |
| その他 | 6 |
| 特別利益合計 | 1,602 |
| 特別損失 | |
| 固定資産除却損 | 77,590 |
| 投資有価証券評価損 | 19,144 |
| 関係会社株式売却損 | 3,503 |
| 退職給付費用 | 89,116 |
| コンテンツ情報料 | 104,317 |
| 特別損失合計 | 293,673 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 510,298 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 37,542 |
| 法人税等調整額 | △389,865 |
| 法人税等合計 | △352,323 |
| 四半期純利益 | 862,621 |

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位:千円)

当第2四半期連結累計期間
 (自平成20年10月1日
 至平成21年3月31日)

| | |
|----------------------|-----------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 510,298 |
| 減価償却費 | 421,434 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 103,752 |
| 受取利息及び受取配当金 | △517 |
| コイン等引当金 | 147,709 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △782,693 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 592,468 |
| 未払金の増減額(△は減少) | 277,686 |
| その他 | 176,841 |
| 小計 | 1,446,980 |
| 利息及び配当金の受取額 | 517 |
| 利息の支払額 | △10,797 |
| 法人税等の支払額 | △740,804 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 695,896 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 無形固定資産の取得による支出 | △588,318 |
| 関係会社株式の売却による収入 | 216,000 |
| その他 | △102,822 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △475,140 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 自己株式の取得による支出 | △223,985 |
| 配当金の支払額 | △135,687 |
| その他 | △140,308 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △499,981 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △279,225 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,442,113 |
| 連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額 | △18,217 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,144,670 |

当期より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しています。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しています。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結会計期間（自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年3月31日)

| | コンテンツ 配信事業 (千円) | 自社メディア 型広告事業 (千円) | 計 (千円) | 消去又は 全社 (千円) | 連結 (千円) |
|------------------------------|-----------------------|-------------------------|------------|--------------------|------------|
| 売上高 | | | | | |
| (1)外部顧客に 対する売上高 | 11,886,307 | 252,375 | 12,138,682 | — | 12,138,682 |
| (2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | — | 46,218 | 46,218 | △46,218 | — |
| 計 | 11,886,307 | 298,593 | 12,184,901 | △46,218 | 12,138,682 |
| 営業利益又は 営業損失(△) | 1,092,822 | △219,057 | 873,765 | △39,884 | 833,881 |

(注) 事業の区分の方法および各区分に属する主要なサービスおよび製品の名称

- 1 事業区分の方法・・・サービスの内容および特性を考慮して区分しています。
- 2 各事業区分に属する主要な製品等の名称は下記のとおりです。

コンテンツ配信事業・・・モバイル・コンテンツ配信(公式サイト運営)、広告代理店、等
 自社メディア型広告事業・・・モバイル・コンテンツ配信(一般サイト運営)、広告代理店、等

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年10月1日 至 平成21年3月31日）

本邦以外の国または地域に所在する子会社および在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年10月1日 至 平成21年3月31日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年10月1日 至 平成21年3月31日）

該当事項はありません。

参考資料

前年同四半期に係る財務諸表等

(前中間連結損益計算書)

| | 前中間連結会計期間 (自 平成19年10月1日 至 平成20年3月31日) |
|----------------|---|
| 区分 | 金額(千円) |
| I 売上高 | 10,493,409 |
| II 売上原価 | 3,118,280 |
| 売上総利益 | 7,375,128 |
| III 販売費及び一般管理費 | 6,676,593 |
| 営業利益 | 698,535 |
| IV 営業外収益 | 13,173 |
| V 営業外費用 | 44,935 |
| 経常利益 | 666,774 |
| VI 特別損失 | 196,373 |
| 税金等調整前中間純利益 | 470,401 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 339,142 |
| 法人税等調整額 | △26,314 |
| 中間純利益 | 157,572 |

(前中間連結キャッシュ・フロー計算書)

| | 前中間連結会計期間 (自 平成19年10月1日 至 平成20年3月31日) |
|-----------------------------|---|
| 区分 | 金額(千円) |
| I 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税金等調整前中間(当期)純利益 | 470,401 |
| 減価償却費 | 288,591 |
| 負ののれん償却額 | △4,558 |
| 受取利息及び受取配当金 | △2,144 |
| 支払利息 | 8,688 |
| 持分法投資損失 | 30,837 |
| コイン等引当金繰入額 | 112,368 |
| 投資有価証券評価損 | 195,410 |
| 売上債権の増減額 | △439,824 |
| 商品の増減額 | △330 |
| 前渡金の増減額 | 90,833 |
| 前払費用の増減額 | △95,743 |
| 未収金の増減額 | 5,299 |
| 仕入債務の増減額 | 268,384 |
| 未払金の増減額 | 90,464 |
| 未払費用の増減額 | △47,309 |
| 預り金の増減額 | 1,462 |
| 役員賞与の支払額 | △10,975 |
| その他 | 57,051 |
| 小計 | 1,018,906 |
| 利息及び配当金の受取額 | 2,144 |
| 利息の支払額 | △9,663 |
| 法人税等の支払額 | △428,838 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 582,548 |
| II 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △95,613 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △509,651 |
| 貸付金の回収による収入 | 121 |
| 敷金の増減額 | △280,040 |
| その他 | △27,750 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △912,933 |
| III 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 長期借入による収入 | 1,000,000 |
| 社債の償還による支出 | △50,000 |
| 株式の発行による収入 | 39,538 |
| 自己株式の取得による支出 | △254,853 |
| 親会社による配当金の支払額 | △104,955 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 629,730 |
| IV現金及び現金同等物の増減額 | 299,345 |
| V現金及び現金同等物の期首残高 | 1,474,997 |
| VI現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高 | 1,774,342 |

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前中間連結会計期間（自 平成19年10月1日 至 平成20年3月31日）

| | コンテンツ 配信事業 (千円) | 自社メディア 型広告事業 (千円) | 計 (千円) | 消去又は 全社 (千円) | 連結 (千円) |
|------------------------------|-----------------------|-------------------------|------------|--------------------|------------|
| 売上高 | | | | | |
| (1)外部顧客に 対する売上高 | 10,170,113 | 323,295 | 10,493,409 | — | 10,493,409 |
| (2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | — | 42,932 | 42,932 | △42,932 | — |
| 計 | 10,170,113 | 366,228 | 10,536,342 | △42,932 | 10,493,409 |
| 営業費用 | 8,603,953 | 1,189,434 | 9,793,387 | 1,485 | 9,794,873 |
| 営業利益又は 営業損失 (△) | 1,566,160 | △823,206 | 742,954 | △44,418 | 698,535 |